

朝日放送グループホールディングス株式会社
2019年3月期第2四半期 決算説明資料

2018年11月16日

ABC

証券コード:9405

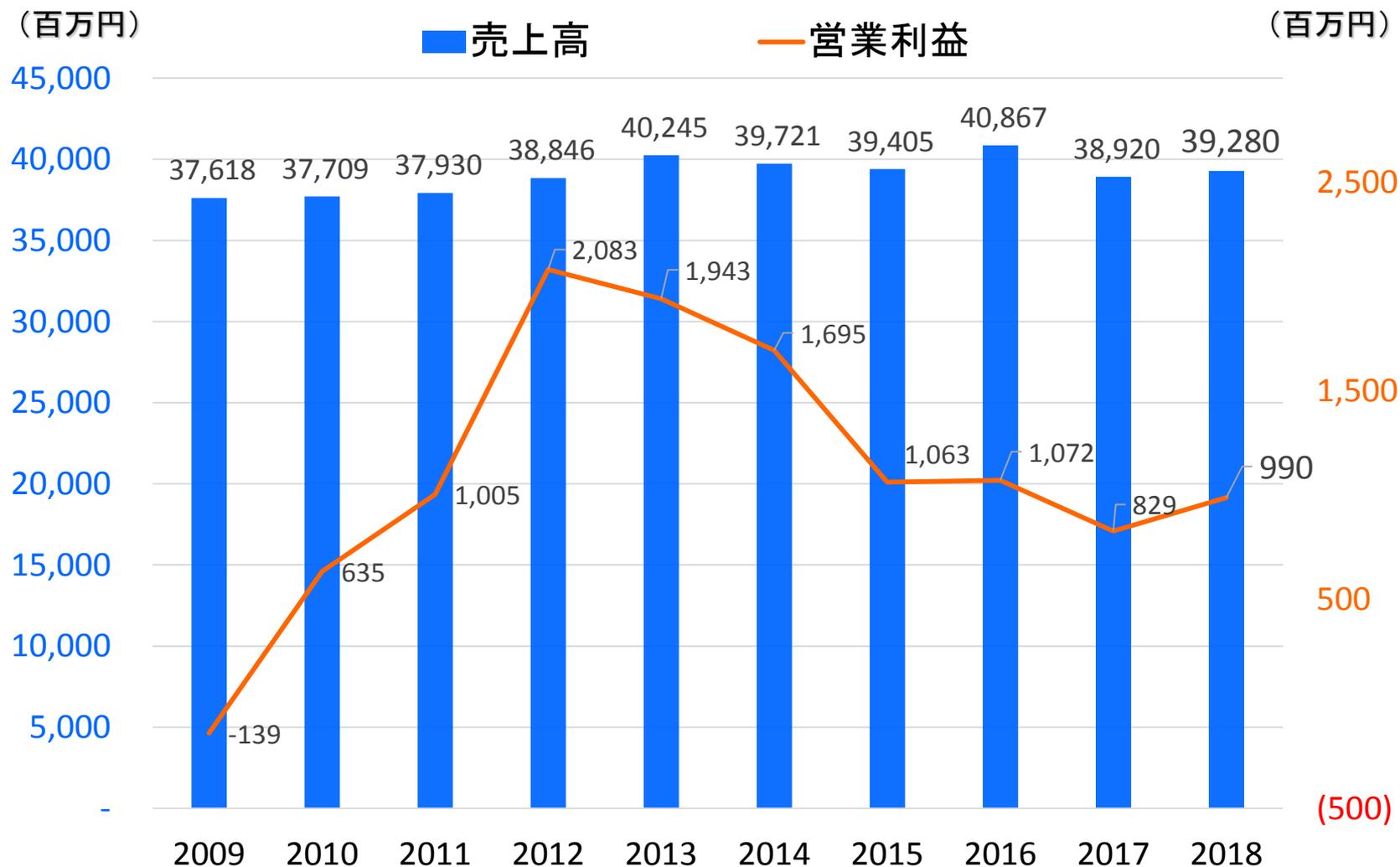
決算の概要

連結業績・費用(上期)

単位:百万円		18年度上期	17年度上期	前期比	増減率
売	上 高	39,280	38,920	360	0.9%
営	業 費 用	38,290	38,090	199	0.5%
内 訳	売 上 原 価	26,616	26,484	132	0.5%
	販 管 費	11,673	11,606	67	0.6%
営	業 利 益	990	829	160	19.4%
経	常 利 益	1,194	1,021	173	17.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,508	614	894	145.5%

- ・テレビ放送事業収入が減収も、グループ各社好調で増収増益に
- ・最終利益の大幅プラスは、HD化に伴う税会計上の処理によるもの

過去10年の売上高と営業利益(連結:上期)



セグメント別業績

(単位:百万円)

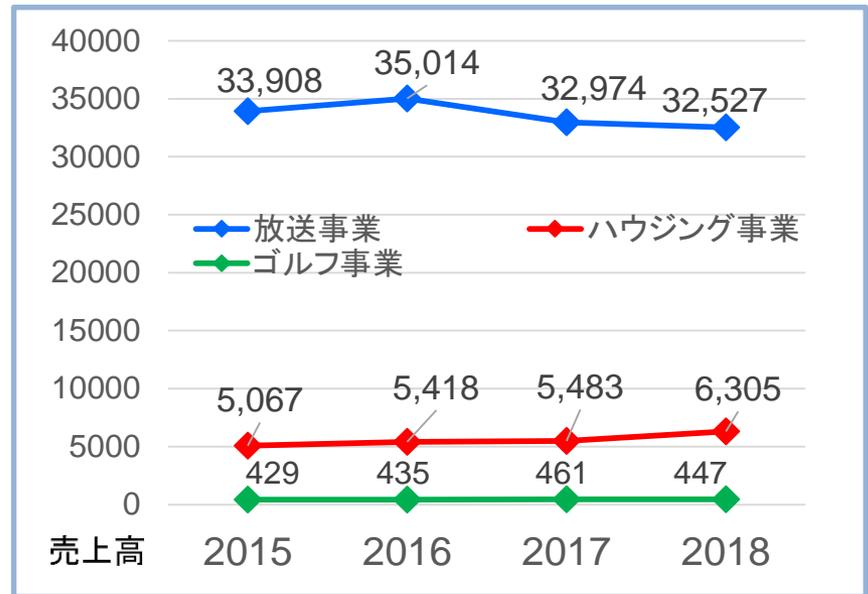
放送事業	18年度上期	17年度上期
売上高	32,527	32,974
営業利益	657	412

ハウジング事業	18年度上期	17年度上期
売上高	6,305	5,483
営業利益	446	397

ゴルフ事業	18年度上期	17年度上期
売上高	447	461
営業利益	2	18

その他調整額	18年度上期	17年度上期
営業利益	△115	—

※HD化に伴い経営管理料等の計上を見直したため、前年度との増減率等は記載していません。



- ・放送事業は、テレビスポットが低調だったがアニメ・通販・CSが好調だったことで、微減収・増益となった
- ・ハウジング事業は好調
- ・ゴルフ事業は堅調

朝日放送テレビの 業績と通期見通し

朝日放送テレビ 業績と費用(上期)

<業績>

(単位:百万円)

<費用>

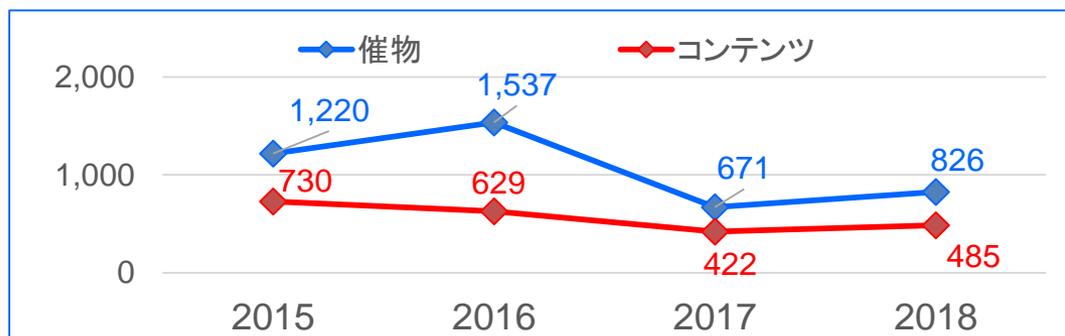
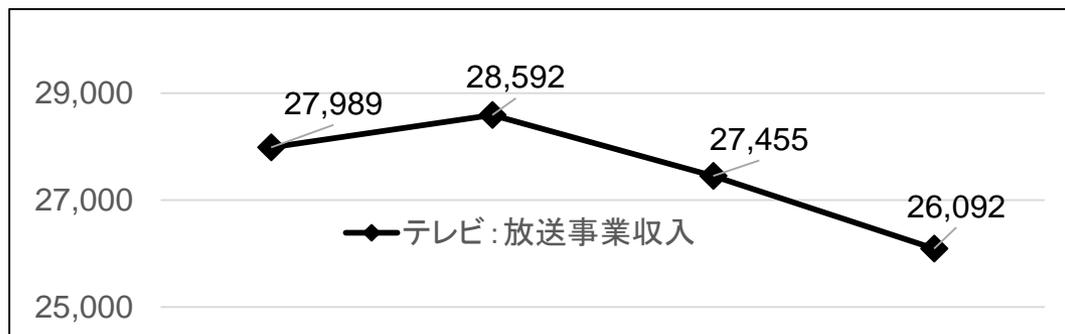
上期	朝日放送テレビ 18年度
売上高	27,887
営業利益	△67
経常利益	△45
当期純利益	668

上期	朝日放送テレビ 18年度
売上原価	17,616
販管費	10,338
営業費用合計	27,954

- ・営業・経常利益とも赤字
- ・当期純利益はHD化に伴う税会計上の処理で黒字

朝日放送テレビ 主な収入(上期)

	2015	2016	2017	2018
テレビ放送事業収入	27,989	28,592	27,455	26,092
催物収入	1,220	1,537	671	826
コンテンツ関連収入	730	629	422	485



上期のポイント

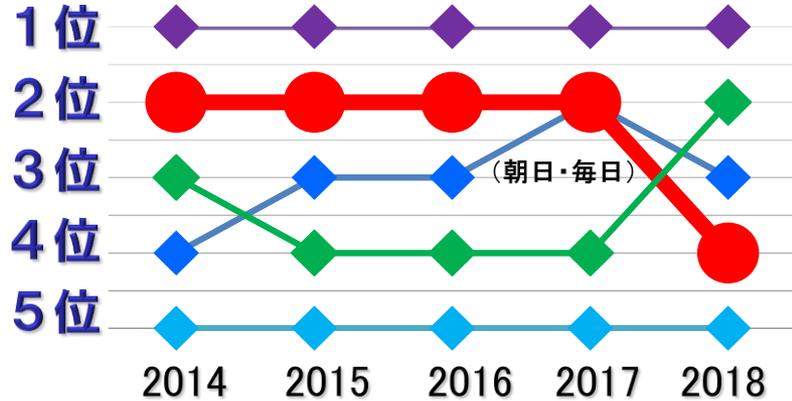
- ・**テレビ放送事業収入**
テレビ広告収入が低調で不振
 - ・**催物収入**
クラシックコンサートが堅調
グルメサイト連動イベントの全国展開も貢献
 - ・**コンテンツ関連収入**
7月からアーカイブ配信をフロンティアHDに移管
収入はほぼ横ばい
- ※コンテンツ関連収入は、2016年7月以降
一部事業をABCフロンティアHDに移管

注: 2017年度以前の「催物収入」には、ラジオイベントも含む

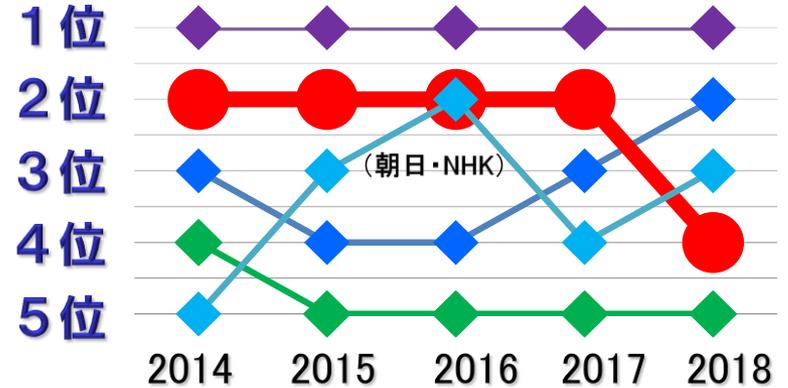
関西地区のテレビ視聴率 (注: 2018年は上期のみ)

全日 (6時～24時)

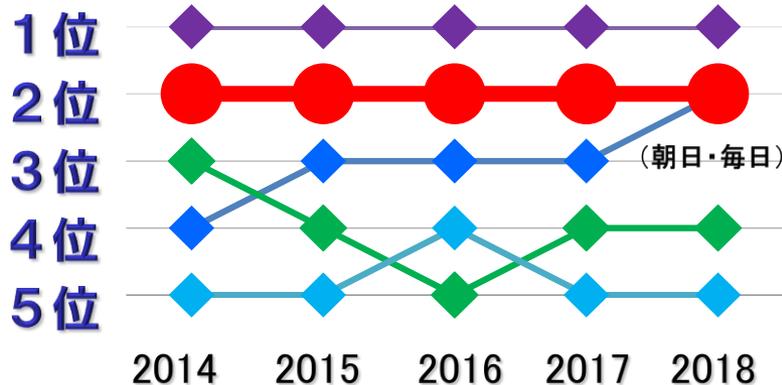
(出典: ビデオリサーチ)



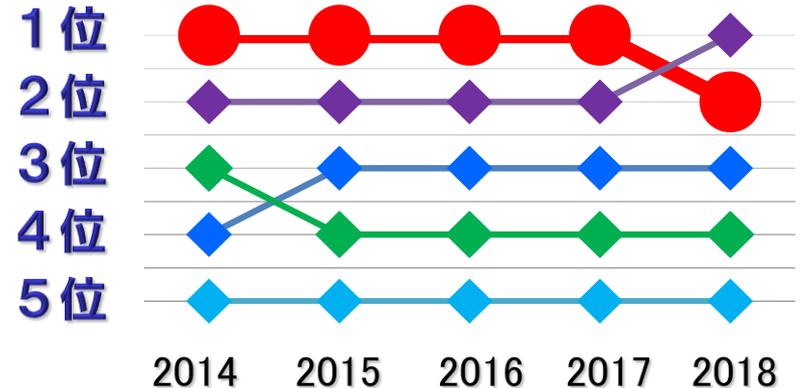
ゴールデン (19時～22時)



プライム (19時～23時)



プライム2 (23時～25時)



● 朝日放送テレビ (テレ朝系)

◆ 関西テレビ (フジTV系)

◆ NHK

◆ 毎日放送 (TBS系)

◆ 読売テレビ (日テレ系)

2018年4～9月 テレビ視聴率(関西地区)

(出典：ビデオリサーチ) (%)

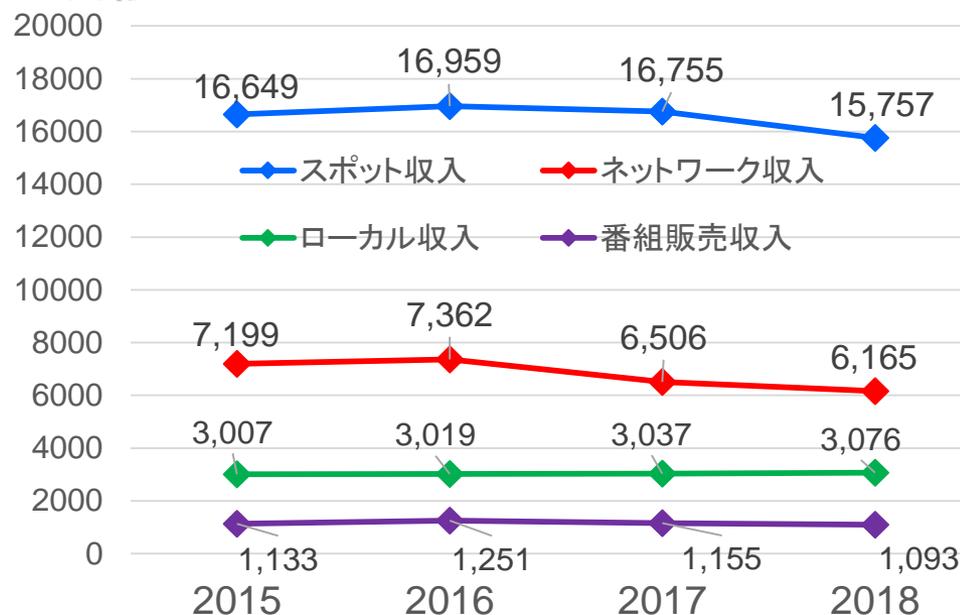
	全日 (6-24時)	ゴールデン (19-22時)	プライム (19-23時)	プライム2 (23-25時)
1	YTV 8.2	YTV 11.9	YTV 11.8	YTV 7.8
2	KTV 7.6	MBS 10.9	ABC・MBS 10.9(+0.1)	ABC 7.1(-0.7)
3	MBS 7.4	NHK 10.4	* * * * * *	MBS 6.0
4	ABC 7.1(-0.2)	ABC 10.2(-0.1)	KTV 9.9	KTV 5.5
5	NHK 6.2	KTV 9.9	NHK 9.2	NHK 3.3

テレビ放送事業：収入（地上波：上期）

（単位：百万円）

	18年度 上期	17年度 上期	前期比	増減率
テレビ放送事業収入	26,092	27,455	△1,363	△5.0%

内訳



※18年度のネットワーク収入は、受託制作収入除く

◆スポット収入：5.9%

- ・地区投下は2011年度に次ぐ低さ、当社売上としては2009年度(リーマン・ショック後)に次ぐ低さ
- ・視聴率低下

◆ネットワーク(タイム)収入：5.2%

- ・前年同期比レギュラー枠1減(日曜夜8時)
- ・土曜ワイド劇場消滅分の影響残る

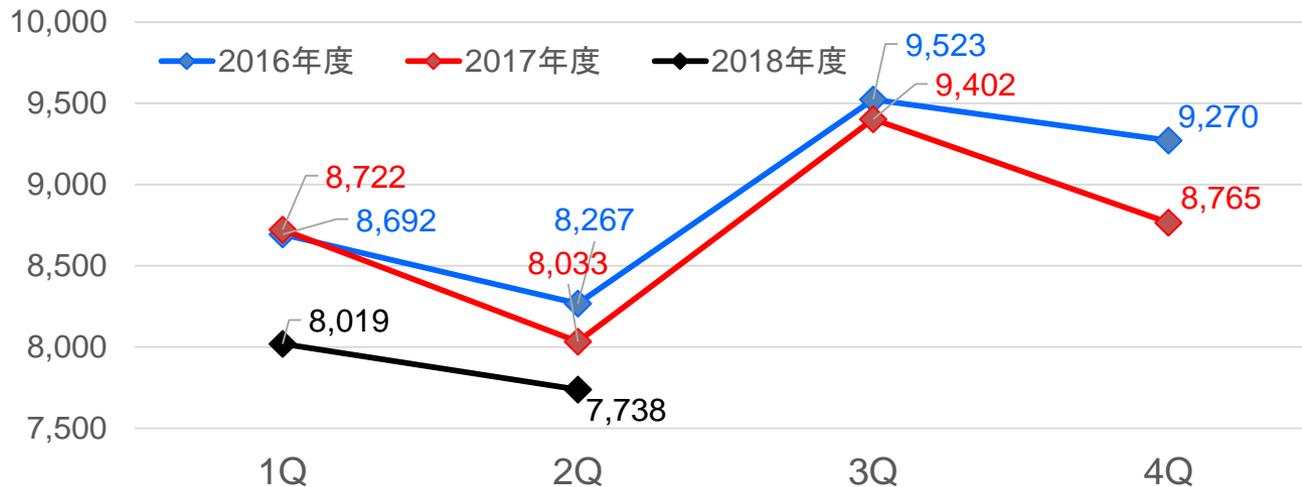
◆ローカル(タイム)収入：1.2%

- ・「おはよう朝日です」が好調続く
- ・GW開催イベントとの連動特番などの単発番組が好調

◆番組販売収入：5.3%

テレビスポット収入(地上波)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2016年度	8,692	8,267	9,523	9,270	35,752
2017年度	8,722	8,033	9,402	8,765	34,923
2018年度	8,019	7,738			15,757



シェアは前年同期比で、第1四半期マイナス・第2四半期プラスで、トータルで0.1ポイントマイナス。大幅減収は、地区投下減の影響が大きい

テレビスポット収入(地上波:業種別20位まで)

業種	2018年度上期		2017年度上期	
	増減率	構成率	増減率	構成率
食品	99.3%	11.7%	106.0%	11.1%
交通・レジャー・外食・サービス	106.4%	10.9%	116.1%	9.7%
飲料・アルコール飲料	110.0%	8.9%	88.8%	7.6%
情報・通信	73.6%	8.0%	91.8%	10.2%
化粧品・トイレタリー	97.6%	7.7%	93.2%	7.4%
自動車	90.1%	7.7%	108.8%	8.0%
薬品・医療用品	92.6%	7.5%	97.3%	7.6%
金融	107.8%	6.7%	88.4%	5.9%
趣味(映画・ゲーム・音楽など)	107.9%	6.2%	92.0%	5.4%
家電・コンピュータ	75.1%	4.8%	108.0%	6.0%
住宅・不動産・建設	90.4%	4.1%	138.9%	4.3%
ファッション(衣料・貴金属など)	86.2%	2.5%	100.2%	2.7%
出版	104.6%	2.2%	110.7%	2.0%
官公庁・政治団体	90.0%	2.0%	83.5%	2.1%
エネルギー・機械・素材	80.2%	1.8%	72.0%	2.1%
流通	119.5%	1.8%	57.7%	1.4%
各種団体(法律事務所など)	93.6%	1.7%	93.5%	1.7%
通信販売	61.5%	1.4%	122.9%	2.1%
運輸・事業・イベント	89.0%	1.2%	101.8%	1.3%
家庭用品	79.3%	1.2%	117.7%	1.4%
その他	20.1%	0.0%	58.0%	0.1%
合計		100.0%		100.0%

スポット広告市場の基幹業種(自動車・通信など)のデジタル広告シフト増でテレビ広告出稿減

⇒番組・web連動企画に取り組んでいるが、ニーズの変化に対応しきれず

※増減率は前年同期比

テレビ放送事業：費用（地上波：上期）

（単位：百万円）

	18年度 上期	17年度 上期	前期比	増減率
朝日放送テレビ 番組費	9,104	9,173	△69	△0.8%

※18年度の番組費は、番組費＋受託制作番組費の合計。（ラジオからの受託などが加算されている）



テレビ放送事業 課題への対策と取り組み

① 視聴率の低迷

- ・重要性が高まるニュース番組の視聴率振るわず
- ・プライム2帯で、他社に首位を奪われる

対策

- 《全日・プライム2帯の視聴率強化》
- ・番組のテコ入れ・刷新
 - ・チャンネル訴求力の再構築

具体的な取り組み

- ・夕方ニュース番組のテコ入れ
- ・プライム2帯のバラエティ番組の刷新
- ・日曜深夜バラエティ枠で新番組開発

② 広告市場の変化

- ・デジタル広告シフトにより、スポンサー企業からのテレビ広告減

対策

- 《営業・マネタイズ強化》
- ・地上波「+α」の企画力向上
- ⇒スポット収入増・放送外収入増を目指す

具体的な取り組み

- ・ドラマ枠を増設し、動画配信を強化
⇒今年度、ドラマ枠を増やした
- ・地上波連動企画(催し物など)
⇒今年度、グルメサイト&地上波連動イベントを開催した
- ・「IP事業プロジェクト室」を設置

テレビ放送事業：下期の取組みについて



- ・特番で好評だった番組をレギュラー化
- ・10月平均視聴率：関東13.0%、関西11.8%
- ・11月のスペシャル番組：関東15.4%、関西16.8%

- 【平日夕方ニュース番組“CAST”】
- ・スタジオセットをリニューアル
 - ・今後さらなる強化に取り組む



- ・日曜深夜にレギュラー枠「ドラマL」を編成
- ・配信を念頭にドラマを制作し好調



- ・水曜深夜放送。動画配信サービス「GYAO」、
広告代理店と共同でドラマ制作
- ・物語をつなぐチェーンストーリーを
「GYAO」で放送中



朝日放送テレビ：業績と費用見通し(通期)

(単位：百万円)

<業績>

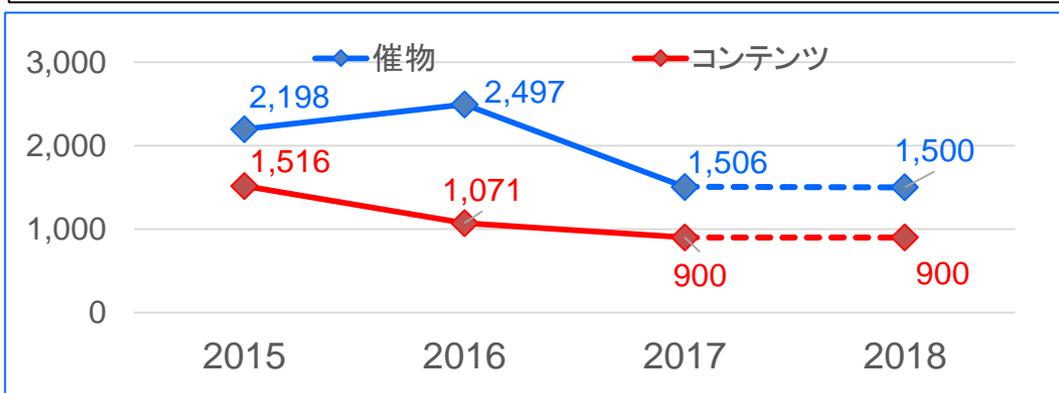
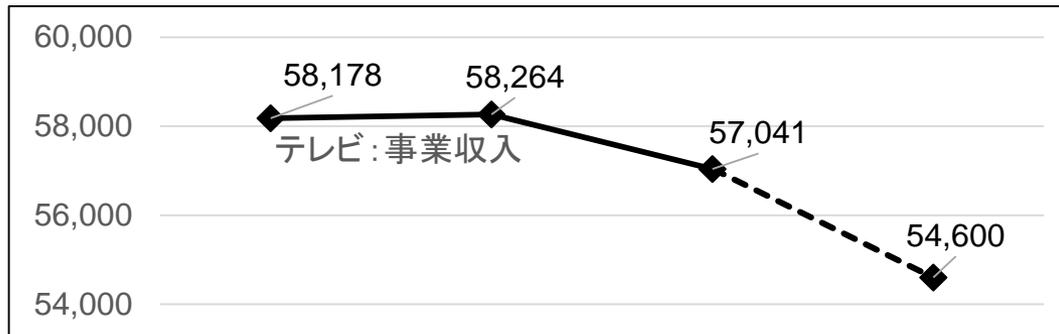
通期	朝日放送テレビ 18年度
売上高	57,800
営業利益	620
経常利益	650

<費用>

通期	朝日放送テレビ 18年度
営業費用	57,180

朝日放送テレビ 主な収入見通し(通期)

	2015	2016	2017	2018
テレビ放送事業収入	58,178	58,264	57,041	54,600
催物収入	2,198	2,497	1,506	1,500
コンテンツ関連収入	1,516	1,071	900	900



通期のポイント

- ・**テレビ放送事業収入**
スポット収入の低迷が続き減収見込み
- ・**催物収入**
前年、下期にあった大型イベントを今年には開催しないため、上期のプラスと相殺され、前年並み
- ・**コンテンツ関連収入**
ほぼ前年並み
※コンテンツ関連収入は、2016年7月以降一部事業をABCフロンティアHDに移管

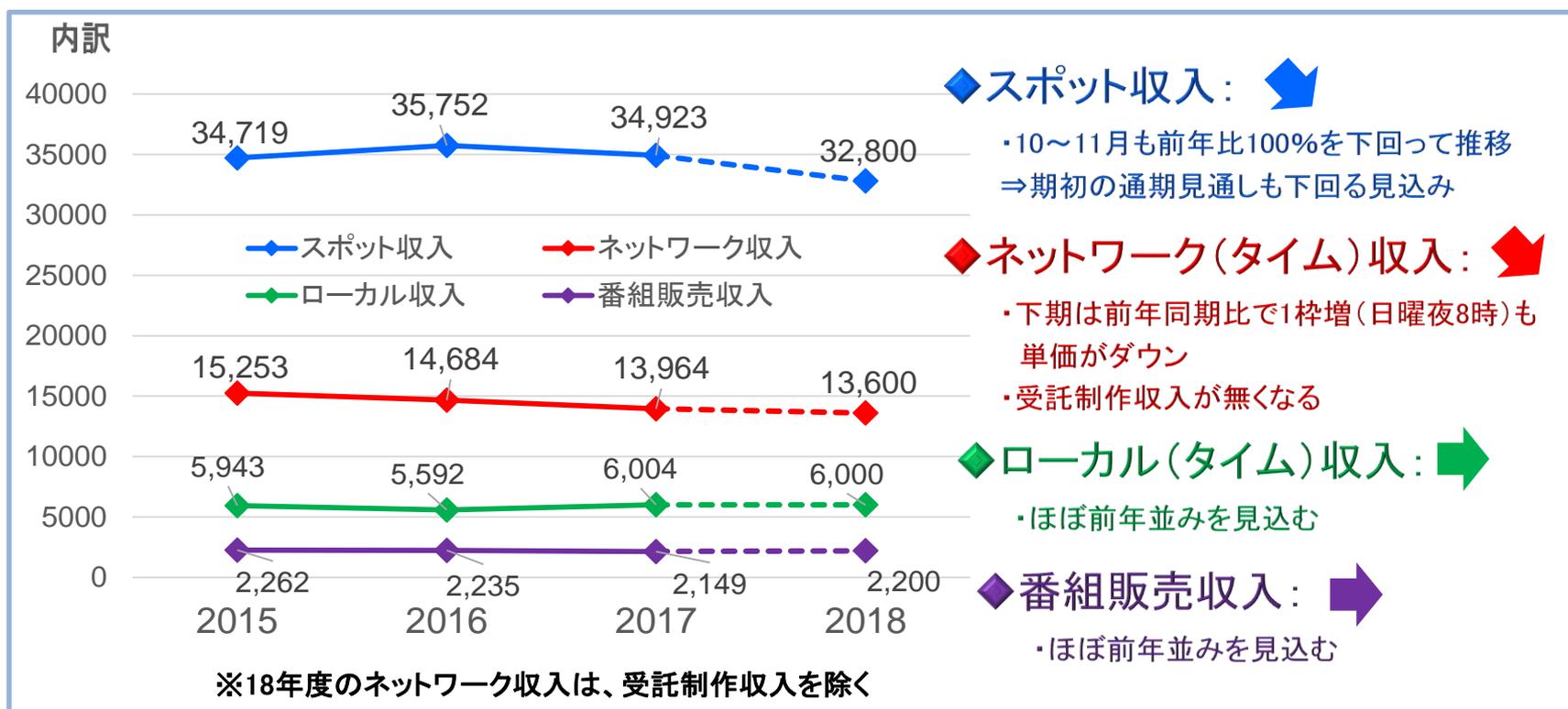
注：2017年度以前の「催物収入」には、ラジオイベントも含む

テレビ放送事業：収入見通し(通期)

<収入>

(単位:百万円)

	18年度 (見込み)	17年度	前期比	増減率
テレビ放送事業収入	54,600	57,041	△2,441	△4.3%



テレビ放送事業：費用見通し(地上波：通期)

(単位：百万円)

	18年度 (見込み)	17年度	前期比	増減率
朝日放送テレビ 番組費	18,100	17,682	417	2.4%

※18年度の番組費は、番組費に“グループ会社への業務委託費用”をプラスしたもの

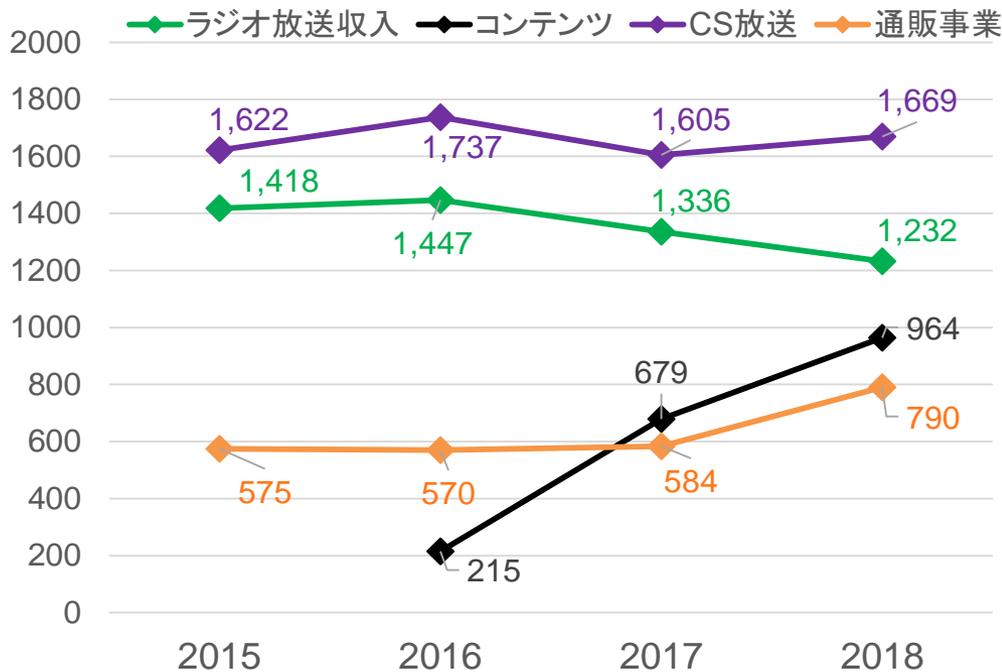


グループの業績と 通期見通し

テレビ以外の放送事業収入(上期・個別)

		2015	2016	2017	2018
朝日放送ラジオ	放送収入	1,418	1,447	1,336	1,232
ABCフロンティアHD	コンテンツ関連収入	—	※215	679	964
スカイA	CS放送収入	1,622	1,737	1,605	1,669
AMC	通販事業収入	575	570	584	790

※ABCフロンティアHDは2016年7月事業開始のため、16年度は7～9月の数字です



上期のポイント

- ラジオ放送収入(朝日放送ラジオ)**
 収入は前年割れとなったが、黒字を確保
 ⇒ 今後は若年層リスナーや新規スポンサー獲得のため、デジタル領域との連動を進める
- コンテンツ関連収入(ABCフロンティアHD)**
 ⇒ 詳細は次のページ
- CS放送収入(スカイA)**
 ステップアップツアー(ゴルフ)で新規スポンサーを獲得して増収に ⇒ 新コンテンツ開拓が課題
- 通販事業収入(AMC)**
 定番商品堅調+祝日特番効果で増収増益
 ⇒ 新商品開発に努め、業績拡大を目指す



- ・ 2月開始の「HUGっと!プリキュア」の二次利用収入好調が継続
- ・ 深夜アニメの海外販売が好調



©ABC-A・東映アニメーション



©おおじこうじ・京都アニメーション／岩鷲町後援会



《上期の実績》

- ・ 海外番組販売及び国内ホテル・機内上映向け番組販売が想定通り堅調に推移し売上増
- ・ 7月から本格化した動画配信事業において、販路の拡大、セールススタッフを強化した

《課題》

- ・ 商品量不足と権利処理費用増加
- ・ 商品量不足

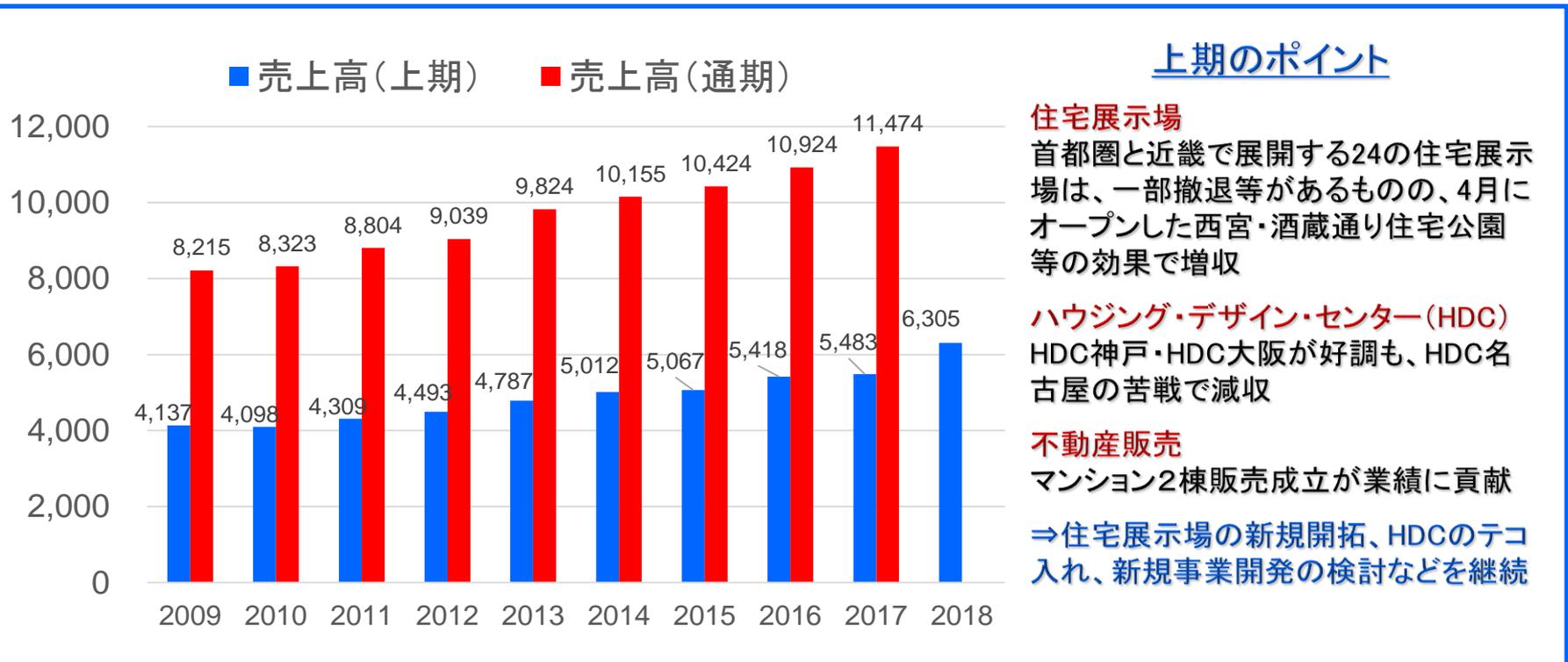
《今後のテーマ》

- ・ テレビの二次利用に限らないオリジナルコンテンツの開発
- ・ アニメ事業以外の収益拡大

ハウジング事業収入(上期)

ハウジング事業		18年度	17年度(実績)
売上高		6,305	5,483
営業利益		446(注)	397

(注)18年度からHD化に伴う経営管理に関わる費用を計上

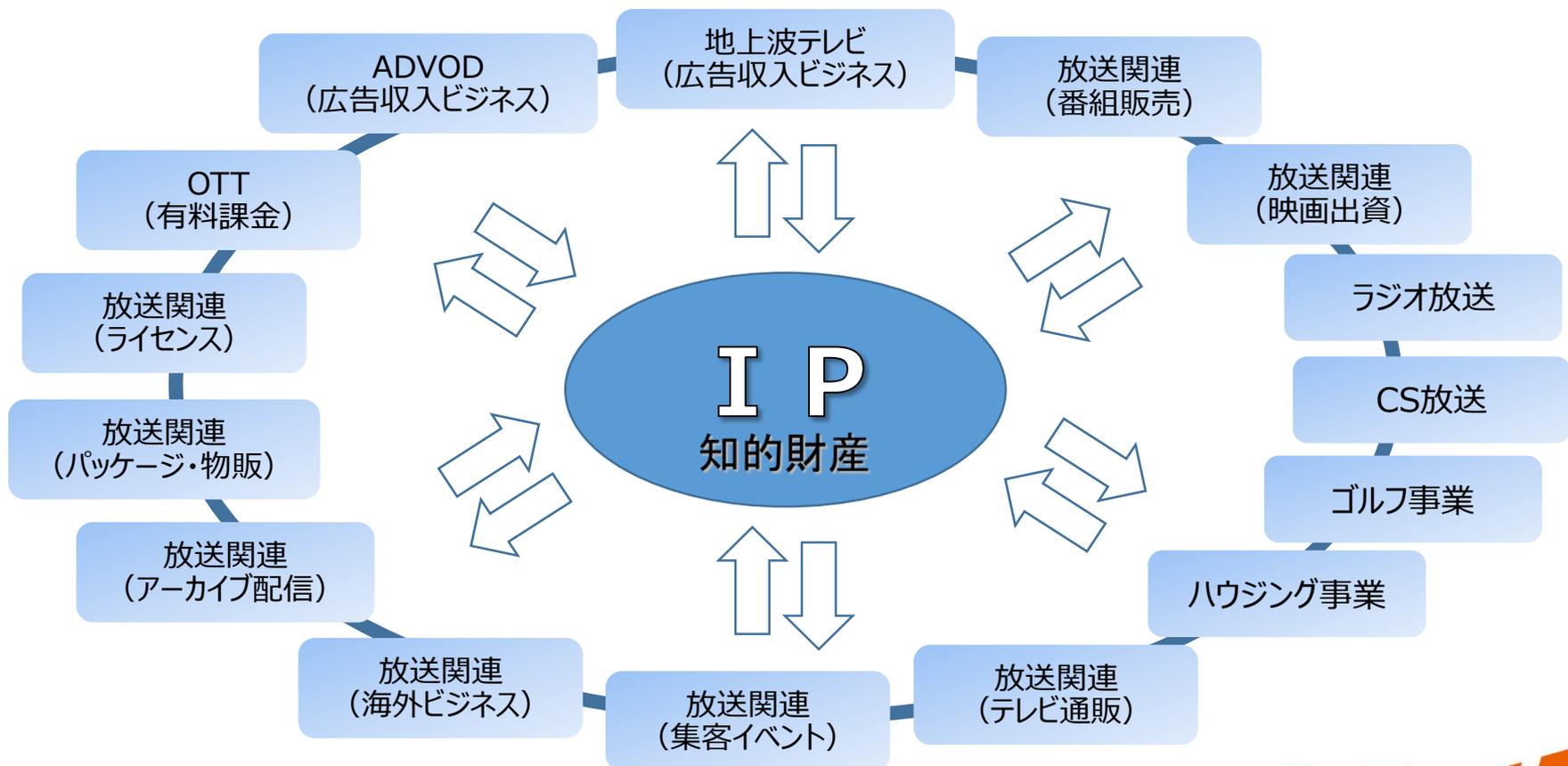


グループ成長ビジョン 「連結売上1000億円、経常利益率8%」

「放送起点のコンテンツビジネス展開」から

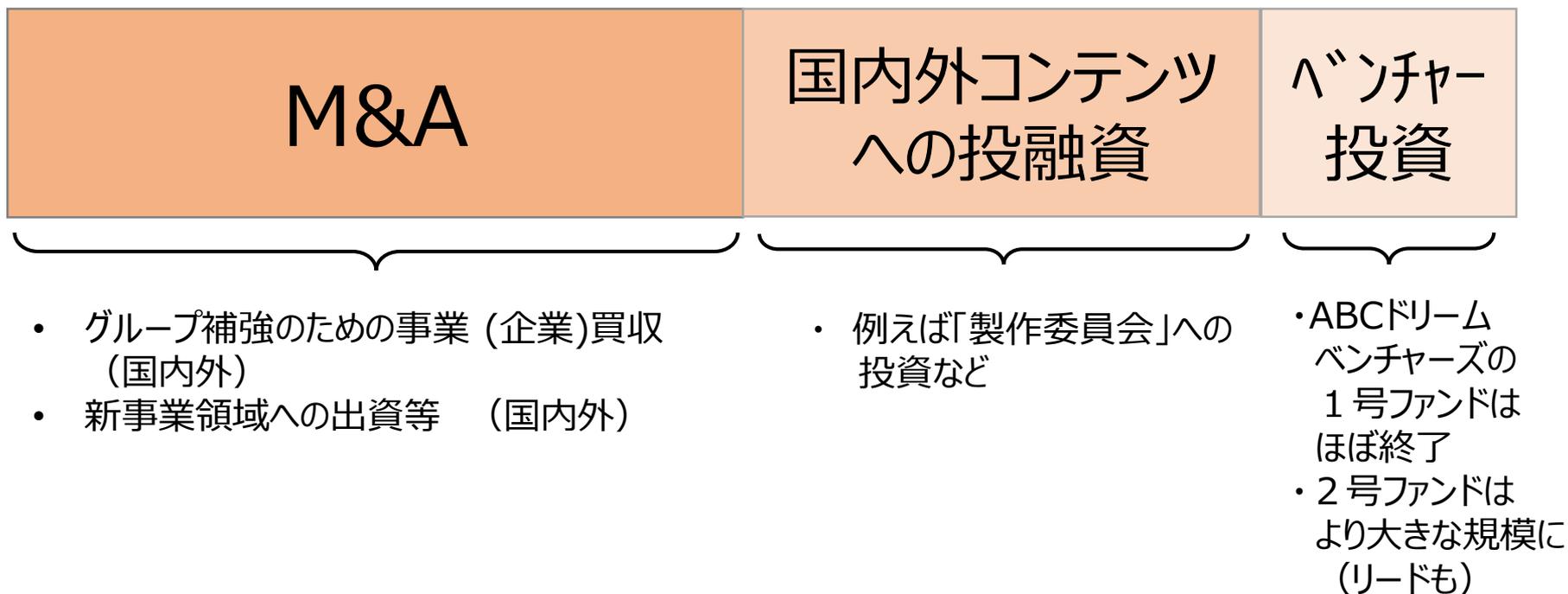
「IP(知的財産)起点(放送も含む)のマネタイズ展開」に軸足を転換

<マネタイズ手段>



グループ成長ビジョン 「連結売上1000億円、経常利益率8%」

投資枠200億円のアロケーションモデル





(C)matoba/ SQUARE ENIX-「ベルまま。」製作委員会



©おおじこうじ・京都アニメーション／岩鷲町後援会

- ・深夜アニメ枠 出資作品
「ベルゼブブ嬢のお気に召すまま」10月から放送開始
- ・7月クール「Free!」シリーズなどの海外販売好調が下期も継続。プリキュアの二次利用収入も好調継続。
- ・次年度以降に向けた、新たなコンテンツを開発・出資



- ・(株) Viibarと分散型のDIY動画メディア「LYKKE」を立ち上げ、共同出資・運営をスタート



- ・11月に「コンテンツイノベーション事業室」を新設。選手マネジメント等のeスポーツ関連事業を展開



©尾崎衣良／小学館

- ・番組アーカイブ配信を強化
⇒下期は、深夜ドラマの「TSUTAYA TV」への配信成立

今後のグループ各社の取り組み



<ニコ生・LINE LIVE連動特別番組>
 ・10月18日放送
 「てれびのミカタ ラジオのラララ」



<SNS連動生放送スタート>
 ・10月～SNS連動 討論生番組
 「リアルをぶつけれ! ハッシュタグZ」



<新コンテンツ開拓>

【9月～】
 高校ダンス部選手権の
 中継を開始

【11月～】
 eスポーツ中継
 プロ卓球Tリーグ中継



コンテンツ制作・技術力を高め
 グループ外（他局・配信会社含む）
 からの受注体制を強化



連結業績見通し(通期)

単位:百万円	18年度	17年度	前期比	増減率
売上高	81,000	80,991	9	0.0%
営業利益	2,700	4,250	△1,550	△36.5%
経常利益	3,000	4,539	△1,539	△33.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,700	2,691	9	0.3%



セグメント別業績見通し(通期) (単位:百万円)

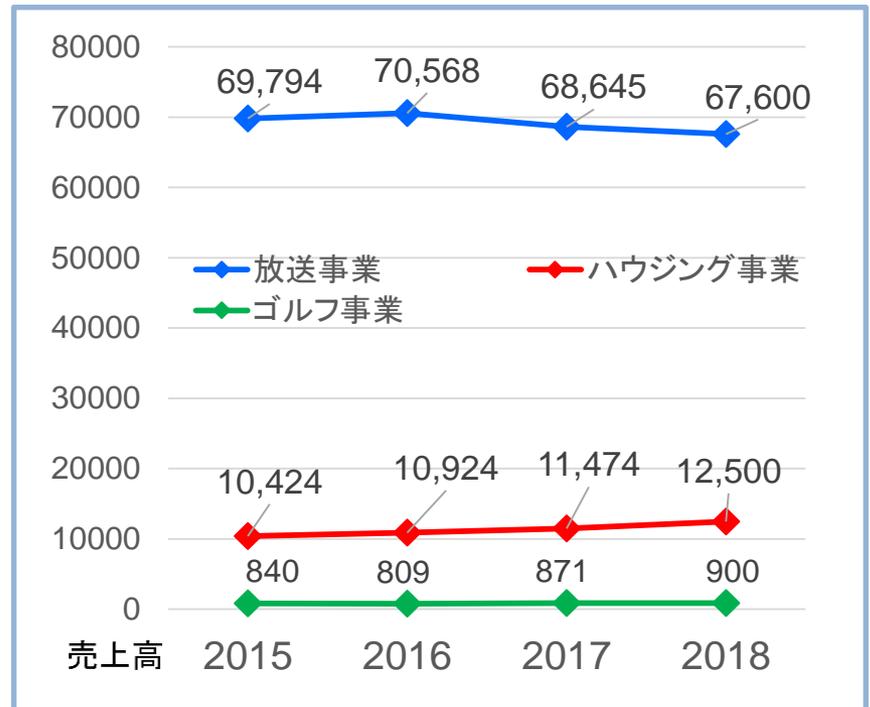
放送事業	18年度	17年度
売上高	67,600	68,645
営業利益	1,980	3,116

ハウジング事業	18年度	17年度
売上高	12,500	11,474
営業利益	950	1,083

ゴルフ事業	18年度	17年度
売上高	900	871
営業利益	20	49

その他調整額	18年度	17年度
営業利益	△250	—

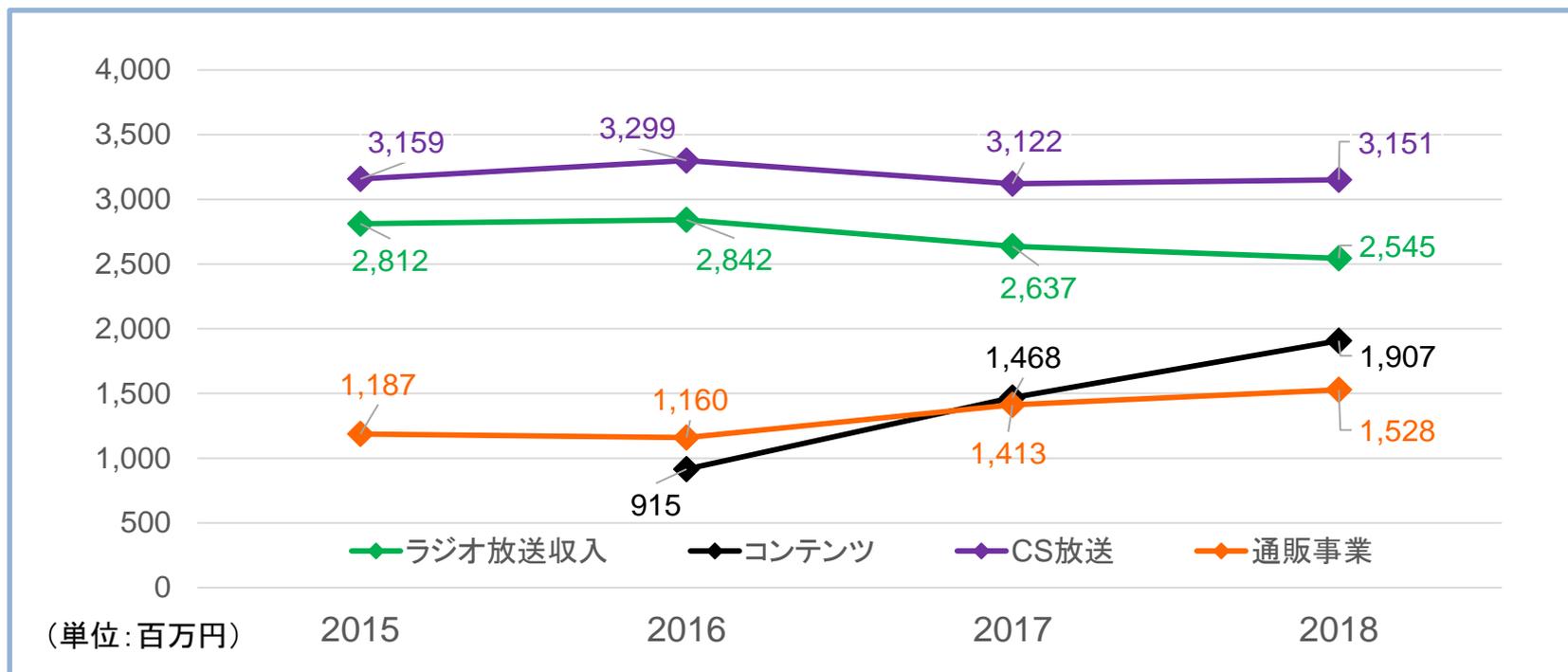
※HD化に伴い経営管理料等の計上を見直したため、前年度との増減率等は記載しておりません。



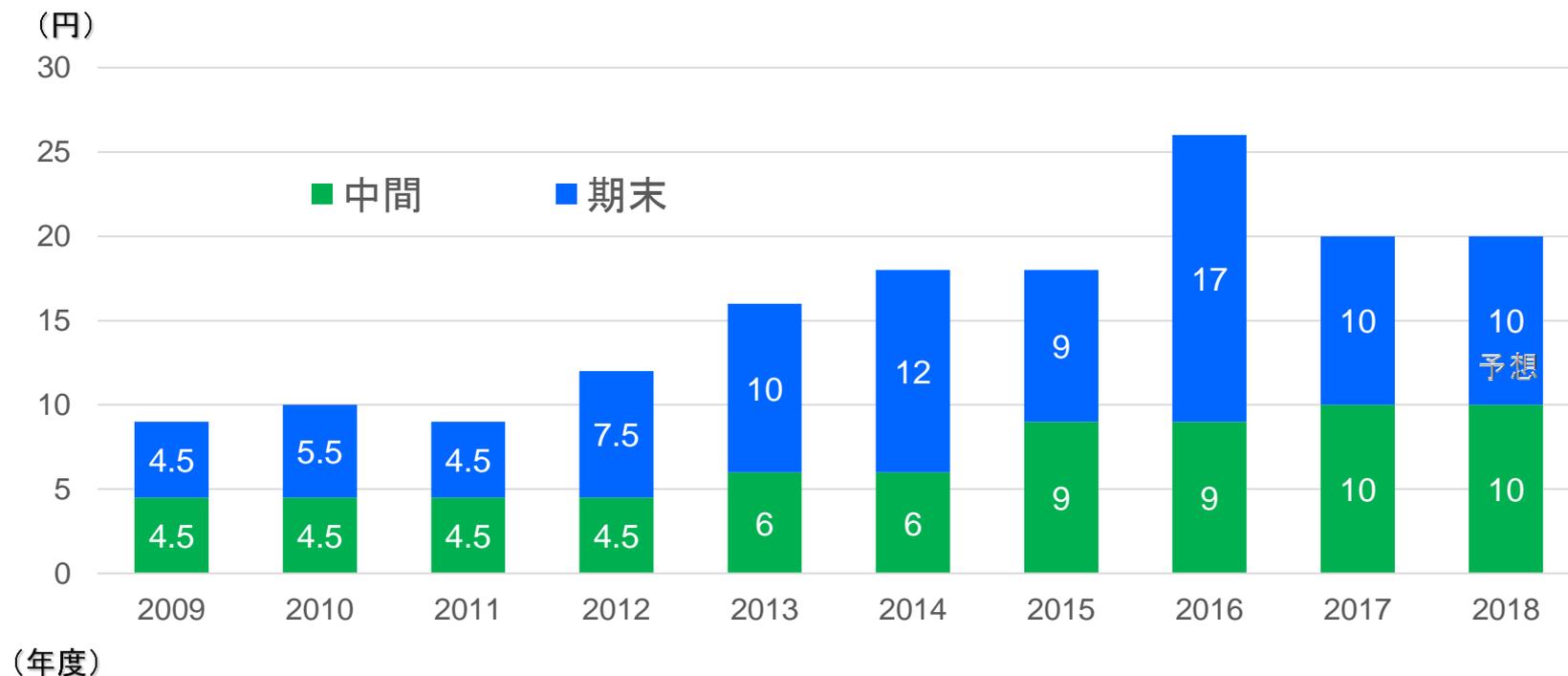
テレビ以外の放送事業収入見通し(通期)

通期		2015	2016	2017	2018
朝日放送ラジオ	放送収入	2,812	2,842	2,637	2,545
ABCフロンティアHD	コンテンツ関連収入	—	※914	1,488	1,907
スカイA	CS放送収入	3,159	3,299	3,122	3,151
AMC	通販事業収入	1,187	1,160	1,413	1,528

※ABCフロンティアHDは2016年7月事業開始のため、16年度は16年7月～17年3月の数字です



配当について



＜利益配分方針＞

当社は、株主への利益還元を経営上の最重要課題のひとつであると位置づけている。利益の配分については、今後の成長のために適切な投資を行う一方、放送事業者という責任ある立場を踏まえ財務体質の強化・維持を図るとともに、配当性向(連結)が30%を下回らず、かつ安定的、継続的な配当をめざすこととする。

本資料に関するご注意

本資料には当社および当社の関係会社の計画、見通し、目標、予想数値等の、将来に関する記述が含まれている場合がございますが、これらは現時点で入手可能な情報に基づく判断及び仮定に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、将来における実際の業績は、今後の事業環境、経済状況、金融市場の状況、その他の様々な要因により、上記将来に関する記述の内容と大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

会社情報サイト

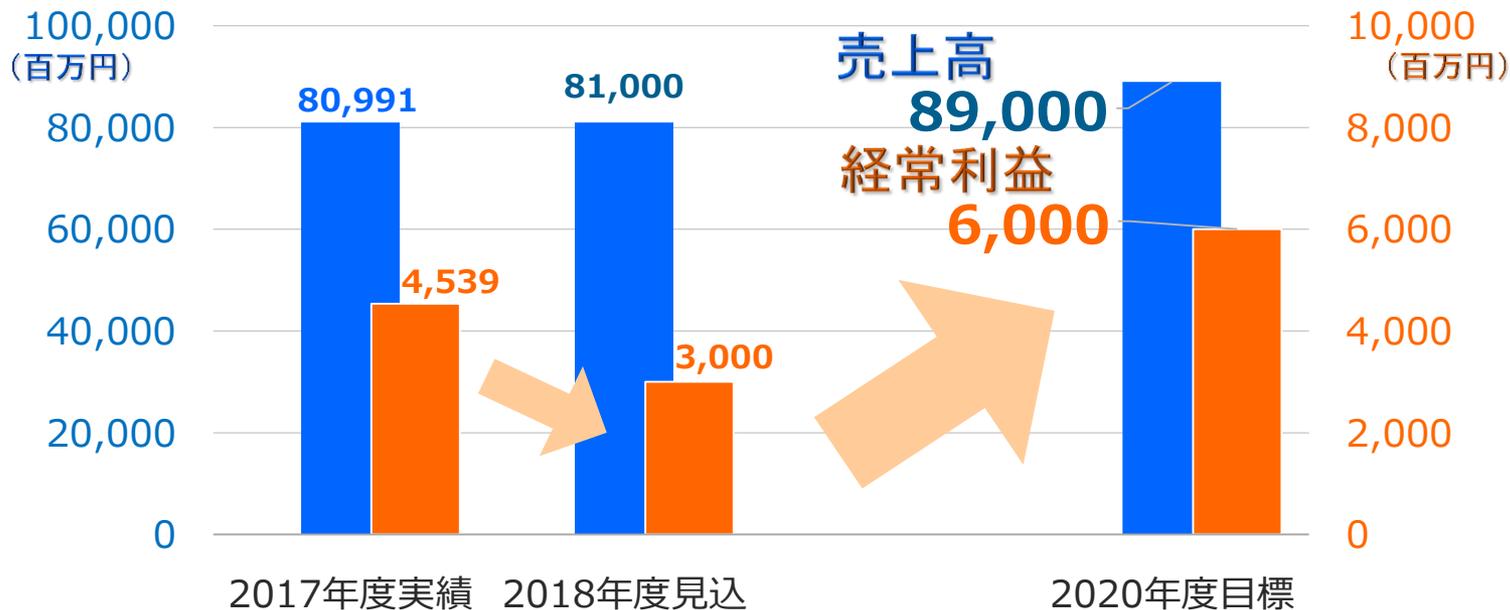
The logo consists of the letters 'ABC' in a bold, white, sans-serif font, set against a solid orange rectangular background.

<https://corp.asahi.co.jp>

これまでの決算短信、有価証券報告書など
当社ではIRサイトの充実にも努めております。ぜひご覧下さい。

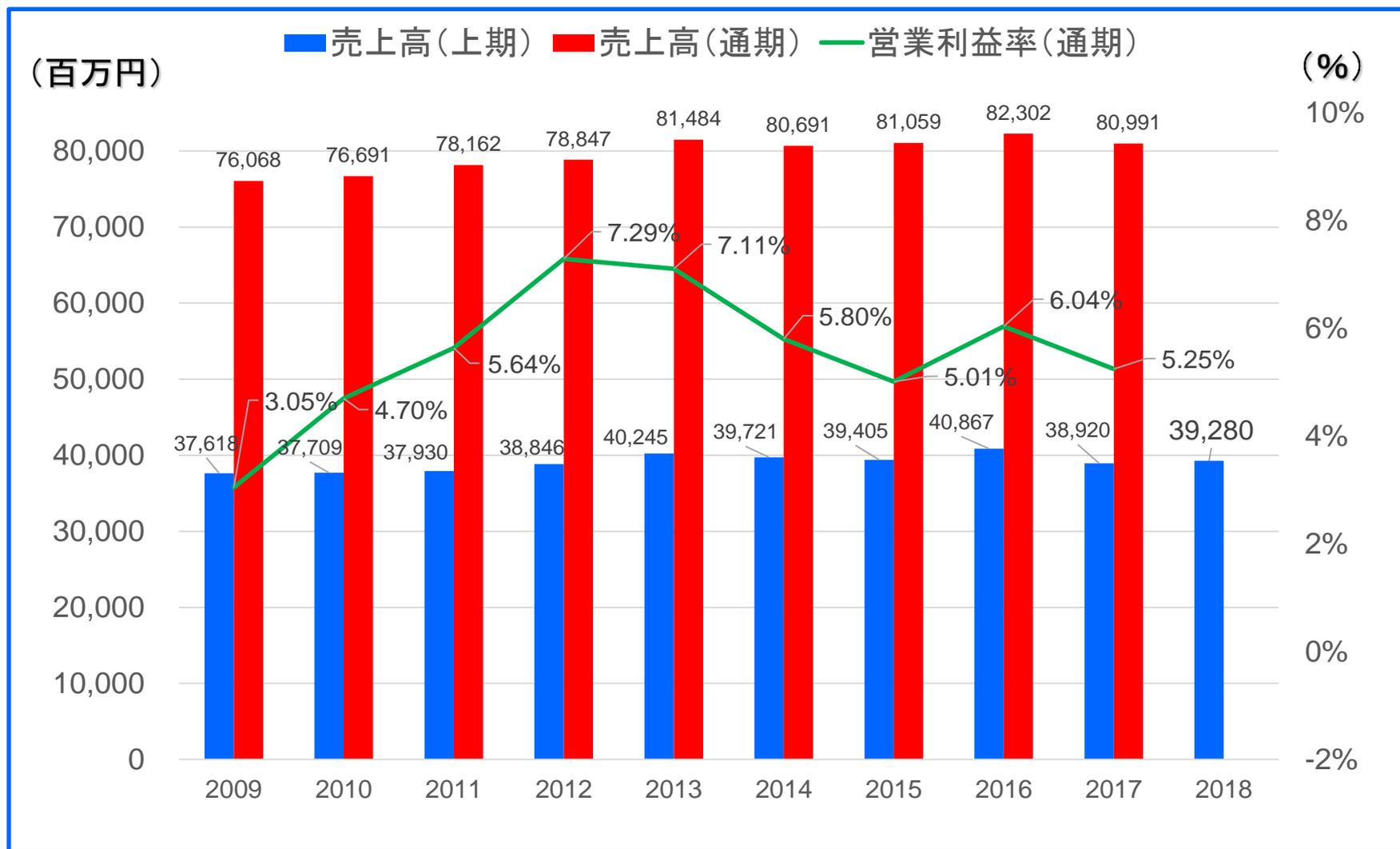
參考資料

中期経営計画2018-2020「SUNRISE」



- ・2020年度「連結売上高890億円、経常利益60億円」を必達する
- ・グループ成長ビジョン達成のための成長投資(投資枠200億円)を行う
- ・配当性向は、30%以上とする
- ・ROEの改善に務める
- ・連結売上高の3%以上の海外事業を目指す

売上高と営業利益率の推移(連結)



設備投資額と減価償却費

	18年度上期		17年度	
	連結	ABCテレビ	連結	個別
設備投資額	19億円	13億円	39億円	26億円
減価償却費	15億円	7億円	28億円	22億円

(億円未満を四捨五入)

グループ会社一覧

★ 連結対象

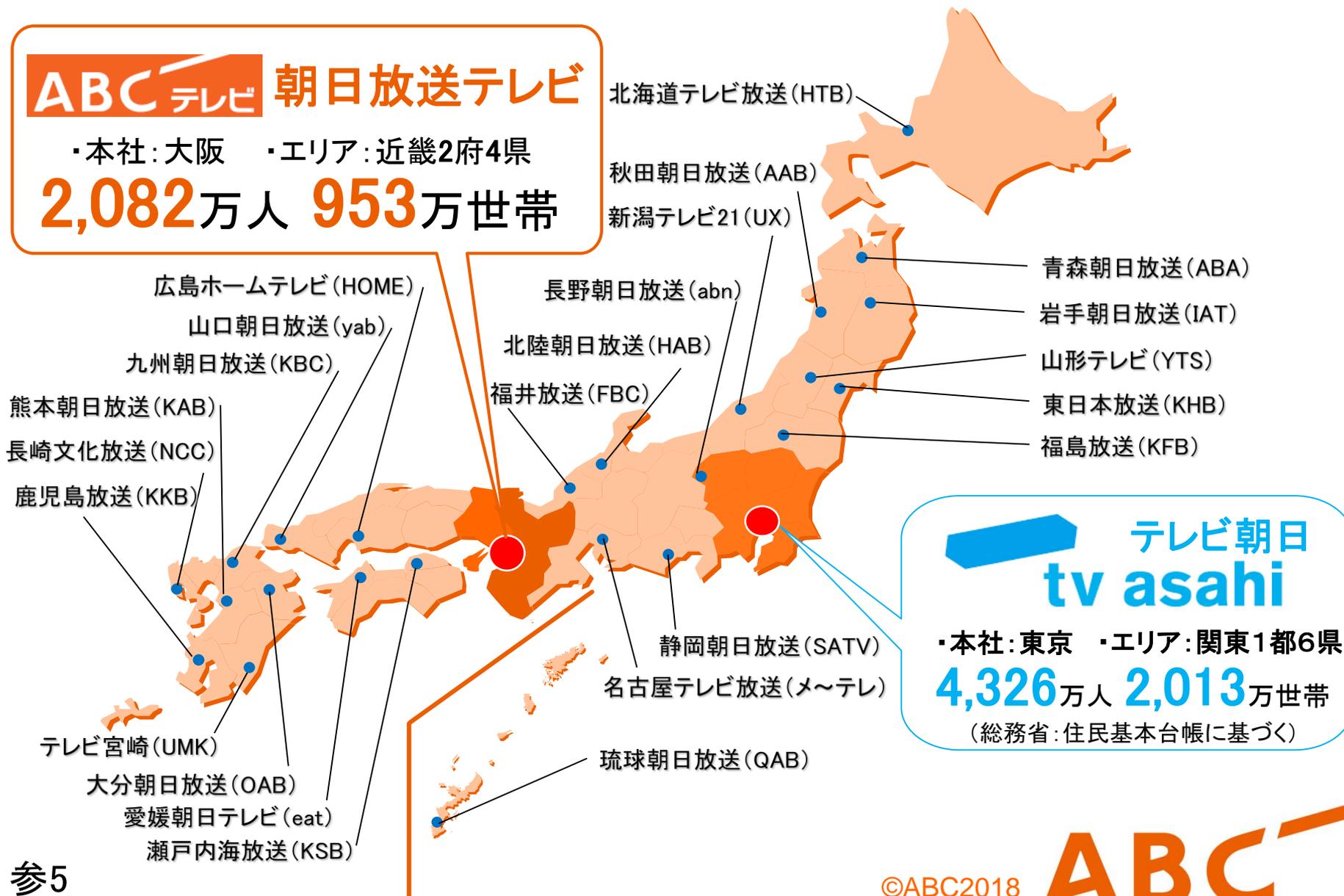
★ 	朝日放送テレビ(株) テレビ放送事業	★ 	(株)ABCライツビジネス パッケージ販売、物販事業、 ライセンス事業、キャラクター事業
★ 	朝日放送ラジオ(株) ラジオ放送事業	★ 	(株)デジアサ デジタルコンテンツ制作、字幕制作
★ 	(株)スカイ・エー CS放送事業	★ 	(株)アイネックス 制作技術、ポスト・プロダクション
★ 	(株)エー・ビー・シーメディアコム 通信販売業務、ラジオ番組制作、音楽出版	★ 	エー・ビー・シー開発(株) 総合住宅展示場運営、HDC運営、 保険代理店業、広告代理店業
★ 	(株)エー・ビー・シーリブラ TV番組企画・制作、映像の保存・管理	★ 	(株)ABCゴルフ倶楽部 ゴルフ場運営
★ 	(株)ABCフロンティアホールディングス (株)ABCアニメーション (株)ABCインターナショナル (株)ABCライツビジネス の経営管理、ライツ管理、新規事業開発	★ 	ABCドリームベンチャーズ(株) コーポレート・ベンチャー・キャピタルの運営
★ 	(株)ABCアニメーション アニメコンテンツの企画・製作、 ビデオグラム販売、海外販売、物販など	★ 	ABC HORIZON PTE. LTD (本社:シンガポール) 海外でのビジネス調査、 新規事業開発及びビジネスサポート
★ 	(株)ABCインターナショナル 番組販売、フォーマット販売など 海外に関する収益事業	★ 	(株)エー・ビー・シー興産 警備保安業務、施設管理業務

テレビネットワーク

ABC テレビ 朝日放送テレビ

・本社:大阪 ・エリア:近畿2府4県

2,082万人 953万世帯



朝日放送テレビが放送する主な番組



「朝日放送テレビ」制作
全国ネット番組



「朝日放送テレビ」制作
ローカル番組



「テレビ朝日」等
制作の番組

自社制作率: 34.0%

テレビ事業収入の種類と仕組み

	タイム 番組提供スポンサーを対象とするセールス 「この番組は〇〇の提供でお送りします」	スポット
期間	原則2クール(6カ月契約)	設定自由
単位	30秒から	15秒から
放送エリア	全国ネットもしくはローカル(各局エリア)	ローカル
予算	2クール(6カ月)固定料金	キャンペーンごと

(注1) 全国ネットのタイム収入について
全国ネット番組は1番組あたりの収入が多い一方で、「番組制作費」に加え、系列各局の電波を借りるための「電波料」が必要なため費用も高む。

(注2) スポットの収入について
放送時間の自由度が高いため、その時々のスポンサーのニーズに合わせるケースも多い。
スポットの価値は、視聴者数(HUT)×視聴率で割り出され、視聴率によって大きく変動する。
「利益」への貢献度が高い。